

英語を楽しく

No. 126
7, September

☆ 英語的表現は、中学校の英語を基礎にして学ぶ
「彼は英語をととても上手に話すことができる。」
を英語で言うと、



英語を学ぶときは
日本語とくらべながら
英語的発想を知
るといいですね。

① **He is a good speaker of English..** と言います。「えっ、『話す』と言う単語はないけど。」 ② **He can speak English very well.** と言うのと違う？
と思われるのが普通です。

①の英語を直訳すると、「彼は、英語のよい話し手です。」となってしまう、妙な日本語になります。日本語では「彼は英語をととても上手に話すことができる。」と言うのが普通でしょう。でも、この「彼は英語をととても上手に話すことができる。」を英語にすると、

① **He is a good speaker of English.**
と言うのが一般的な英語の表現方法です。

“**He is a good speaker of English.**” = 「彼は英語をととても上手に話すことができる。」
と言うと不可解な感じもしますが、英語と日本語間（他の言語でも同じ）で、お互いの文意を、英文日本文にすることが 自然の訳と言えるでしょう。

「だれだれは、〇〇(人)である。」と言う言い方、**He is a 〇〇 er.** は、個人（の気持ちや考え方）を大切にしている意識を表しているとも考えられます。例えば、

③ **She is good at tennis.** 「彼女はテニスが得意です。」を

④ **She is a good tennis player.** と英文では表現するのもその一つで、

②の、「彼女はテニスが得意」という事実よりも、④の、「彼女はすばらしいテニスプレイヤー」という個人に焦点を合わせた言い方が大切にされるのです。

念のためにお断りをしますが ②や③ の文は間違いではありません。十分通じる英語です。このような英文（②や③ のような表現方法）を学ばず、中学校で英語を学ぶ 子ども達に、

「彼は、英語をととても上手に話すことができる。」

という日本語を **He is a good speaker of English.**

と指導することは困難なことです。ですから、②や③のような英文から学習していくことが自然でしょう。英語に対して、より学び豊かな知識を得てからより英語的な英語が言えたり、書けたりすればよいのであって、現在 中学校で学んでいる英語こそ大切にされ、指導されることが生徒にとって最もよいことと思います。